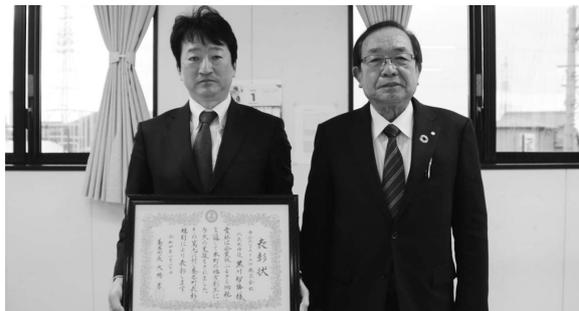


魅力あふれる未来へ



令和3年11月から12月にかけて、カニエJAPANグループ(愛知県海部郡蟹江町)より、企業版ふるさと納税制度などを活用いただき、2,000万円を寄附していただきました。

同社は、地域社会の発展に貢献するため、豊かな暮らしを提供することを目標にガス事業を中心として全国で多彩な事業を展開しています。

黒川智勝代表取締役からは「人口減少のなか、まちの魅力を未来のために残そうとする取り組みを応援します」とあたたかい言葉をいただきました。

いただいた寄附金は、このまちの魅力をさらに向上させるため、養老駅の整備事業に対して有効に活用させていただきます。

社会福祉の発展を願って



1月28日(金)に西濃ビル管理株式会社(船附)が創業50周年を迎えたことを記念して、社会福祉事業に対して100万円を寄附していただきました。安田益次取締役会長(右写真中央)は「現在、岐阜県内、養老町内でもコロナ感染者が急増しており、大変な状況が続いていると思います。そんな中だからこそ、町の事業所として社会福祉事業の発展に力添えをしたいと考え、寄附しました」と今回の寄附の趣旨について語りました。

いただいた寄附は、町の社会福祉事業の推進のために有効に活用させていただきます。

地域のために一人ひとりができること



2月9日(水)に養老警察署から、1月上旬に行方がわからなくなった高齢者を発見し、保護した野原聖司さん(大巻)に対して感謝状が贈られました。

野原さんは「町の消防団員として10年以上活動しており、生まれて育ったこの地域のために、自分ができたいことを常に考えています」と話し、町の防災無線(広報よろう)で聞いた特徴を持つ高齢者を見つけ、声をかけたとのことでした。佐藤署長は「地域のために行動するという意識は警察としても見習うべき素晴らしい考えです」と賞賛しました。